夕刊
新京日日新聞

積極的に親日政策のブラジル政府
「棉花で日本製軍艦が買ひたい」と

(東京十九日發聯通)林ブラジル大使よりの外電によればブラジル政府は日伯兩國貿易關係促進に全幅的努力を拂ふ旨

『確言』した、即ち林大使が十五日ブラジル政府長官ウワルガス氏と會見の際同氏はブラジルは最近實業團を日本に派遣し日伯貿易促進に大いに努めて居る、日本もこの際實業者を派遣されては如何、又日本移民に就ても今後共移民入國に障害を加へんとする意向なく日本移民に對しては日本向原料品を多量に生産するやう奬勵して居る又ブラジルは棉花その他の商品を以つて仕拂ふことゝし軍艦を建造の積りで既に入札を布告したが日本も進んで參加されたいと述べ更に同長官はブラジル棉花を日本へ送ることを希望し

『今後』の取引を進めたい意向を漏らした

八月中出超 千二百餘萬圓

(東京十九日發國通)大藏省發表=八月中旬までの十六港外國貿易概算左の如し(單位千圓)

輸出	五一、七八三
輸入	三九、四一四
合計	九一、一九七
出超	一二、三六九
一月以降累計 入超	一三八、一七五

黑龍江省在留外人國籍

(チチハル十九日發國通)當地警務廳に於て調査した處によれば大同二年七月末日現在黑龍江省内在留外國人國籍別人員は左の如し

縣別	國籍	戸數	居住者	滯在者	合計
龍江	日本	一、一七四	二、七七五	一六	二、七九一
	朝鮮	一八三	七六七	一五	七八二
	白露	八八	三八四	一〇	三九四
	ソ聯	二	一〇	—	一〇
	獨乙	三	七	—	七
	瑞西	二	五		五
	米國	二	五		五
	波蘭	二	六		六
	其他	四	八		八
泰來	日本	三	一三		一三
	朝鮮	一二七	六〇一		六〇一
青岡	朝鮮	二	一六		一六
慶城	日本	一	二		二
	朝鮮	四六	一三三		一三三
望奎	朝鮮	七	四一		四一
拜泉	日本	二	四		四
	朝鮮	九	四四		四四
	瑞西	二	三		三
木蘭	朝鮮	八九	三七二	二二	三九四
甘南	瑞西			一	一
龍鎭	日本	一三七	四〇二	五	四〇七
	朝鮮	四九	一二七	四	一三一
	白露	四	五		五
綏化	朝鮮	三三	一五五	一一	一六六
	白露	二	八		八
	丁抹	一	九		九
	米國	一	二		二
綏濱	日本	一	三	一	四
	朝鮮	三三	七五	九	八四
	白露	七	二一	一四	三五
克山	日本	三三	一〇〇		一〇〇
	朝鮮	二二	七四		七四
	瑞西	一	一		一
巴彦	朝鮮			三	三
景星	朝鮮	五一	二七六		二七六
合計		二、二〇六	五、五二一	[illegible]	[illegible]

ブロンソンレー氏 日滿兩國のため遊説

(東京十九日發國通)ブロンソン、レー氏は二十四日横濱發の龍田丸で渡米し、米國朝野の名士と會見し滿洲國や日本に對する偏見一掃に努力する筈である

滿洲經濟建設の現況 (七)

放送要旨 關東軍特務部 陸軍一等主計 東福清次郎

第六、統制事業と自由事業に就て

以上の如く申上げますと如何にも滿洲の産業は殆ど總て統制して居るやうに聞えませうけれども決して左樣では無いのであります

それ故今度は單簡に何處迄が統制事業であり如何なる事業が自由企業であるかと云ふ點に就て申上げ度いと思ひます

以上申上げた所を綜合致しますと統制すべき事業の範圍は大体左の四つの範圍に纏め得ると思ひます

(一)國防上の重要産業
(二)一般産業の發達に必要なる基礎産業
(三)公共的事業
(四)其他右に屬せざる場合に在りても一般産業合理化の見地より特に統制を必要とする事業

の四つ位に纏め得ると思ひます、具體的實例に就ては時間もありませんから皆樣の御研究に委し度いと思ひますが單簡に一例を擧げますと

(一)交通、通信に關する主要事業
(二)國防上重要なる製鐵、製油業
(三)石炭の如き一般基礎鑛業
(四)電氣事業
(五)瓦斯事業
(六)金融に關する主要事業

等の如きは何れも右の統制産業の部類に入るべきと思ひます

然らば自由産業として殘るものは如何なるものかと云ふことになりますが概ね次の如き事業は自由産業の部類に入るものと考へます

從つて如何に駐滿最高統制機關が統制する場合ありとするも次の如き事業に對する統制に在りましては極めて輕い程度のものであります

但し目下滿洲の産業は日本側並に滿洲國側共一般産業統制の創立時代でありまして之が圓滑なる統制の實を擧ぐる爲に大部分の事業に對し認可制度又は許可制度を採用して居るのは之一時的手段として止むなき現象と思ひます

今大体右の如き前提を置き私一個の頭から自由企業として申すものを列擧致しますると次の如きものになります

パルプ業、製粉業、油脂工業、製材業、製麻工業、セメント工業、製糖業、釀造工業、皮革工業、陶磁器製造業、其他窯業、國有鑛區以外の採金事業、染色業、印刷出版業、農産品加工業其他數へ來たれば幾らでもあると思ひます

以上の説明に依り如何なる事業を統制し如何なる事業を自由にするかと云ふやうな點に關しては朧氣ながら御了解願へたものと信じます

第七、結辭

只今迄申上げた處により現在に於ける滿洲の經濟建設は大体如何なる機關により如何なる根本指導精神に基き、如何なる要領に依り、如何なる程度に建設せられつゝあるか將又滿洲への進出希望者は何處に相談すれば宜しいかと云ふやうな事が概ね御了解願へたと思ひます

最後に講話を終るに當り二三附け加へ度い事があります

(一)其の第一は前にも述べました如く滿洲經濟統制機關は世間一般の人々が考へて居るやうに單に抑へることだけを考へて居ない、何處までも國の爲め御互の利益の爲め延す方の統制を常に々々考へて居ることを明瞭に理解して頂き度いことであります

(二)從つて第二には一般に誤解せられて居る如く資本家だけの進出を抑へると云ふやうな事は絶對に無き事實劍なる進出計畫を持參せらるゝ人に對しては充分の誠意を以て之を迎へ、雙方の意見さ合致する場合には進んで之が成立を助成し、意見相異の場合に於ては極めて好意的に之が訂正を申出で御互に之が成立に邁進するの準備あることを充分に御了解願ひ度きことゝ右の點重ねて申加へて置き度いと思ひます

而して第三には今や如何なる意味に於きましても滿洲の經濟建設は既に計畫の時代は過ぎて鋒先を揃へて實行に邁進すべき時期が到來したることゝを御了解願ひ度きことゝ

而して同時に從來舊政權時代に於るが如き不安並に危險は一掃せられたものと確信して眞劍なる計畫あらば之を提げてどしどし出て來らるゝことを御進めして止まない次第であります

斯く致しまして滿洲經濟建設が名實共に理想的に完成し萬民共樂の樂土と化する事が出來ましたならば日清、日露の兩役に於て延いては今回の滿洲事變に於て滿洲問題解決の爲死傷せられたる幾十萬の先輩同僚に對しても其の英靈を慰めることゝもなり、今回日滿同胞九千萬が一致結束國運を賭して國際聯盟をも脱退したる決意にも合致する事が出來ると思ふのであります(完)

珠玉を碎く

吉井勇 (高根秀浩畫)

多の湯の宿(十) (九十三)

『あんまりだわ……あんまりだわ』

露子は京子から突然思ひがけないことをいひ出された口惜しさから、目に一杯涙を溜めて、相手の顔を見詰めながらさういひ續けた。

もうかうなつては球突きの勝負も何もなかつた。英一と香山とは爭つてゐる二人の女が、京子と露子なので、ちよつと口を出すことが出來ないで默つてゐたが、笹沼や鈴子や照子は何うにかして二人の爭ひを止めさせやうと思つて間に入つた。

『まあ、まあ、京子さん、こんなところでつまらないことをいふもんぢやありませんよ。さあ、座敷に行つて麻雀會に取りかゝりませう』

笹沼は取卷きらしい言葉つきで

かういつて絹撫めにかゝつたが、京子はこの前の興行の腹癒せやら、山根の別莊での鬱憤やら、球突きに負けた口惜しさやら、いろ／＼胸に溜つてゐることがあるので、中々口を閉ぢなかつた。

『だつて現在あたしが見てゐるんだから仕方がないわ。夫ぢやああなたはあれから何處へ行つたの』

『何處へも行きません。歸つたんです』

露子は目に涙を浮かべてはゐたが、きつぱりした聲で返事をした。

『噓おつしやい、あたしが歸る時ちやんとあなたの下駄があつたわ』

『いゝえそんなことありません』

露子は口惜しさに總身がわなわなと顫へた。

『まあ、まあ、いゝぢやありませんか。さあ座敷へ行つて仲直りとしませう』

笹沼がさういふと、鈴子も傍から、

『ほんとに京子さんもお止めなさいよ。あなた相良さんに惚れてるの』

と言つたが、その言ひ方が可笑しかつたので、そこには輕い笑ひ聲が起つた。と、これをいゝ機會に笹沼は露子に向つて、

『さあ、露子さん、行きませう』

と言つて誘つたが、露子はちよつと首を振つて、

『いゝえ、あたし歸りますわ』

と言つたきり身動きもしずにそこに突立つてゐた。

『それぢやあ困るからまあ兎に角座敷まで行つて下さい』

笹沼が賴むやうにさういつたので、露子はやつと頷いて、みんなはまた二階の座敷に上がつて行つた。が、しかし一旦白けてしまつたみんなの心持は、もう何うすることも出來なかつた。

『さあ、兎に角酒だ、ウヰスキー』

さういつて笹沼は床の間に飾つてあつたキングオブキングスの瓶を持つて來て、チャブ臺の上にコップを並べた。そして自分でコップに注いでから、わざとらしい陽狂な聲で、

『さあ、さあ仲直り、仲直り……』

『みんなでプロージットしませう』

といつてみんなにコップを擧げさせたが、しかし露子だけは何うしてもコップに手を觸れなかつた。そして座敷を拔けるやうに立つて行つたかと思ふと、そのまゝ歸つてしまつたものと見えて、それつきり姿を現はさなかつた。

『おや、歸つたのか知ら……。それぢやあ僕も失敬しやう』

英一がさう言つて立上らうとすると丁度隣に坐つて居た京子が突然英一の手を掴まへて何やら言つた。

『厭よ。歸さないわ。ねえ、香山さん。松本さんをもつと引止めたつていゝでせう』

日日案内
三行 一回金五十錢
被服度 一回金三十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
住名在社 一回金十錢増
御申込みは電話三三〇〇番

女中 入用年齢十八歳位 健康の方を求む給料面談 三井物産内 赤津 電三七六六番

電話讓 姓名在社

讓家 有急讓度室町公學堂前大通 公司

見習 看護婦募集 電話二九六一番 小倉小兒科醫院

金銀 潰金 高價買入 東二條通り廿五 横濱屋質店

京染洗張專門 電話二六二〇番 にしきや 消防隊横入

帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

和洋料理 カフエー ミス新京 東四條通 電三七三三番

將棋 倶樂部開設教授 懇切初心者歡迎 自午前十一時至午後十二時 來會御隨意毎日 新京富士町三大吉裏通 新京將棋クラブ電三一五九 三段 宮本金三

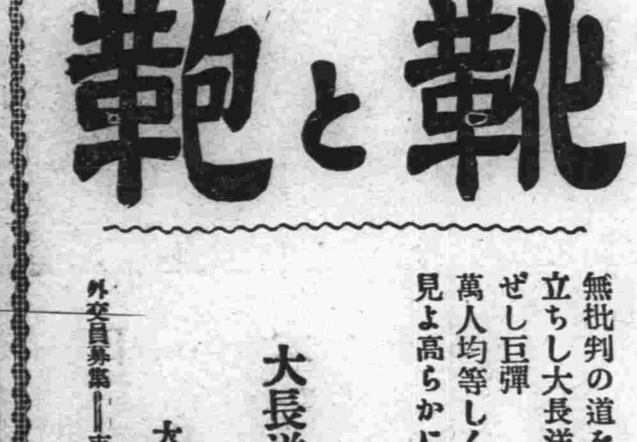
紙函製造 大經路一五 長野商會 電話三四九八番

滿洲國政府公報取扱 東朝、大朝兩新聞社發行物一切 大阪 東京 朝日新聞販賣所 大滿蒙新聞 朝日舍 栃尾新聞舗 東一條通二二 電話二三四二番

時計の御用は 金華堂へ 吉野町二丁目 電話二六四五

貸出勉强 保管確實 賃 流質品安賣 第七博多屋 三笠町三ノ二七 (東三條通筋)

北鮮經由東京へ!! 大阪へ!! 一國際列車へ東京ヨリ敦賀一
滿洲丸 雄基・清津出帆 毎六・十六・二六日(月三回)
天草丸 雄基・清津出帆 毎一・一一・二一日(月三回)
北日本汽船株式會社 代理店 北鮮運輸



秋の新衣裳は……!! 弊店のショウウインドーから!!
婦人セーター スカート
子供ジャケツ 洋服
ネクタイ 旅行具
新京日本橋通 平本洋行 電二一五八番

近日開店 酒場ミドリ

女給募集 毎日午前十時から午後七時まで 本人來談の事
サービスガール募集 毎日午前十時から午後七時まで 年齢十四歳から十九歳まで
新京曙町三丁目開花正門前

兵器手入材料 各種工業礦油 諸官衙御用 新京入舟町二丁目五番地 田中商會新京支店 電話長三四五八番

新店舗移轉御通知 毎々格別の御引立厚く御禮申上候愈々今般新店舗落成仕左記へ移轉致候間今後共尚一層御引立の程御願申上候

御挨拶 目下病氣にて滿鐵病院に入院中に付九月より左記に於て開業可致候
齒科 口腔科 一般
新京東一條通(室町小學校角向ひ) 安谷齒科醫院

靴と鞄
無批判の道を行く同業界に沈默を破て立ちし大長洋行が一九三三年劈頭に投ぜし巨彈
萬人均等しく渴望の的
見よ高らかに叫ぶ我等が躍進振を
大長洋行製靴部 營業部 大經路第三市場二十號
外交員募集=市内要保證人二名

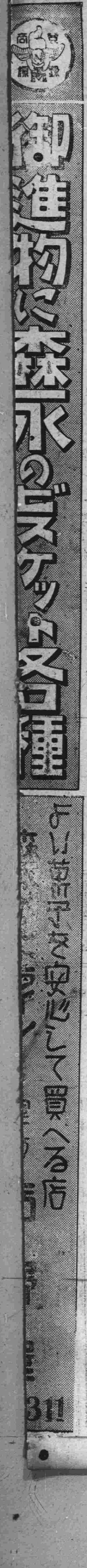
滿洲ノ曠野ヲ完全ニ征服!!
自然ト文化ノ中ヨリ生レタル
石矢ノ新案鐵筋混凝土園壁
美シイ園壁ハ一段ト御住宅ノ眞價ヲ高メ御出入ニ貴下ノ眼ヲ樂シマセマス
製法ノ合理化ニヨリ驚クベキ安價同强度ノ煉瓦壁ノ半値
優美、高尚 堅牢、安價
◎兎ニ角一度實物御試驗ヲ乞フ(一見デ御氣ニ召ス事請合ヒデス)
◎御一報次第早速所員ヲ御伺ヒサセマス
新京日本橋通新京ビル四階四十一號 新案鐵筋混凝土園壁製作請負 電話二九九三番 石矢組

櫻御影石販賣
關東廳及滿鐵工事課の賞讚を博せし櫻御影石
火熱寒氣に絶大の耐久力を有し磨けば大理石以上の光澤を有す特別長大物直經六七尺、長四、五十尺
細工入念―期日正確―價格低廉
鞍山大和町一丁目九ノ三 田尾組
取次 新京日本橋通七八 電二一一六番

滿洲國地圖 定價 五萬分一……十五錢 十萬分一……十五錢 二十萬分一……二十錢
各地代理店募集面談又は書面交渉
新京吉野町一丁目廿四 元賣捌店 森野商店 電話二一五一番

滿洲國軍政部測量課發行

赤煉瓦製造販賣
現在五十萬個の煉瓦を持つて居ります、馬車一台分から御届いたします、多少に拘らず御電話下されば早速御伺ひいたしますから是非御用命願ひます
滿洲窯業合資會社 電話四八七一番



敦圖線開通後に於る 滿鮮國境稅關

羅津設置の根本方針確立

暫行的には圖們中心

敦圖線開通に伴ふ滿鮮國境通關問題に就き滿洲國財政部に於いては大使館、滿鐵並びに朝鮮總督府側と「種々」折衝を重ねて居たが、貨物輸送並びに通關事務の圓滑を期する爲大体に於いて稅關終端港設置の根本方針の確立を見、羅津港築港の完成を待ち稅關本館を羅津に設置、清津並びに圖們、上三峰に分館を設置することとなつたが唯日本領土內に於ける滿洲國稅關の設置並びに稅關行政を如何にすべきやに就き法規上相當議論があつたが既に外務省並びに朝鮮總督府側の諒解を得たので、來週中に新京に於て大使館主催の下に開催される稅關會議に於て愈々具体的決定を見る筈である、而して差當り九月一日敦圖線本營業開始後も羅津築港完成迄は敦圖線經由の滿鮮連絡貨物が急激に增加し通關事務に支障を來すが如き事はなかるべく、同港完成迄暫定的に「現在」の圖們稅關中心主義を採ることに決定して居る

首相と鈴木總裁の會見は 儀禮的に終るか？

〔東京十九日發國通〕齋藤首相は鈴木總裁と會見に先立ち二十二日の閣議で帰上顚末を報告し諒解を求める筈だが、政友閣僚を除く閣僚は如何なる意味で會見するか疑ひを持つ者多くその他にも悲感說あり、會見に關し早くも憂慮されて居る、結局齋藤首相、若槻、鈴木兩總裁の會見は單に儀禮的であると一般に觀られて居る

首相、藏相を訪問 國策協定問題を協議する

〔東京十九日發國通〕齋藤首相は夫人同伴で午後一時半私邸を出發、葉山の別莊に歸つたが、高橋藏相を訪問し鈴木總裁と協議すべき國策協定範圍等につき意見を交換する筈でその結果齋藤首相は二十三日頃鈴木總裁を訪問することとならう

海軍大演習御統監の 大元帥陛下

八百浬の洋上に在せらる 御召艦乘務員恐懼

〔橫須賀十九日發國通〕御召艦比叡は一昨夜橫須賀から某方面に向け約八百浬進出した、御統監のため大元帥陛下がかくも沖合洋上に進まれたことは前例なく幕僚以下乘組員一同恐懼し奉つてゐる御召艦は二十一日午前九時半頃橫須賀軍港に御歸港の豫定である

貿易の前途 樂觀さる

〔東京十九日發國通〕本月の貿易は前旬より出超が約六百萬圓減少したが主要原因は雜品の輸出四百萬圓、生糸、綿糸布の輸出が百四十萬圓減少のためである、貿易の前途を見るに米國のインフレ政策變更は當分豫期されず從つて生糸の輸出も相當割合を保つべく印度その他への綿糸布輸出も大した故障なく殊にシムラ會商の目先觀から輸出の增加氣配すら見へる、輸入でも印棉不買や先行不安で棉花の低量買入手控への形だから急激な變化は豫期されず從つてこの出超は依然順調に續くだらうと觀測されてゐる

練習船桑港入港

〔サンフランシスコ十九日發國通〕水產講習所練習船白鷹丸は練習生三十名を乘せて十八日アラスカのダッチ、ハーバーより當地に到着した、當地に一週間滯在後ワシントンに赴き同地より歸國の途に就く筈である

傷病兵來京

二十一日午後三時二十五分着列車でハルピンから傷病兵二十八名來京大部分新京衞戍病院へ一部は公主嶺分院へ

傷病兵南下

二十日午後零時四十分發第十八列車で新京より二十一名の白衣の勇士は幾多の偉勳を滿洲の野に殘し、懷しの故山へ晴れの凱旋をした、驛頭には日滿官民愛國婦人會其他各團体の熱誠なる見送りがあつた

六省次官會議で

シムラ會議の訓令案決定

〔東京十九日發國通〕シムラ會議に關し廿四日出發の澤田寺尾兩代表に携行せしむる訓令案につき昨朝十時から外務省で關係六省次官會議を開き兩代表も出席の上、訓令案の最後的決定をなした、訓令案は二十一日の閣議に上程の上正式決定する筈だがその大綱は左の如し

一、新日印通商條約は相互主義の最惠國待遇を根幹とすべく、若し正式條約締結が困難な場合は右趣旨による通商航海關稅條約を締結に努むること

一、印度は日本の綿布に對する特惠的待遇を與へ、之に對し日本は印度棉花の一定數量輸入保障を與へ、且我產業に脅威を與へぬ印度商品に特惠待遇を與へる如く相互的交換の用意あること

二、現行條約期限後、無條約關係を來さぬ樣に便法的暫定協定の設定を印度に要求する事

一、條約期限の到來後も日本商品に過重の關稅を課さぬやうに要求する

橋本少將凱旋

橋本前憲兵司令官は二十一日午前九時新京驛發特急ハトで凱旋赴任します、皆さま送りませう

松木中將 凱旋

上海事變勃發と同時に參戰、南支戰局終了を告げるや長驅來滿、泥濘膝を沒する熱滿の原野に、或は寒風肌を刺す朔北の嶺上に執拗なる匪賊を追ふて轉戰、赫々たる武勳に輝く松木直亮中將は今回の定期異動により參謀本部附に榮轉することとなり二十日午前九時發鳩で軍司令官代理西中將、小磯參謀長伊藤軍醫總監、小林海軍少將、多田少將等軍部日滿官民多數の見送りを受けつつ一路凱旋の途に上つた

停頓の中蘇不可侵條約再燃 蘇聯側より草案提出

〔東京二十日發國通〕陸軍に達した情報に依れば滿洲國不承認等を含む中國提案の中蘇不可侵條約は中華民國の條件過大であるとの理由から三ケ月の停頓の狀態を續けて居たが蘇聯大使ボクモロフ氏は最近モクワス政府から重要訓令を受領したものの如く國民政府と不可侵條約に就て再商議を開始した、而して今回は蘇聯側から草案を提出したものでその內容は蘇聯が現在まで他國と締結した不可侵條約と同一內容のもので特殊條件はないと傳へられて居る

武谷軍醫監放送

福岡縣教育會顧問陸軍々醫監武谷水城氏は八十二歲の高齡で目下滿洲視察の途にあり聘されて吉林より引返し二十日午後六時二十分から新京放送局で「皇道と王道」と題する講演を放送するが氏は皇道と王道、尙武と好武、元冠史實等の著述あり篤學の士である

北鐵第五次會商 或は延期されるか

副理事長秘書東京より歸る

〔ハルピン十九日發國通〕北鐵監事會同理事會の聯合會議はソ聯側首席代表バンドーラ氏の病氣のため延期されてゐるが、一部ではバ氏の病氣は問題の審議を遷延せしむる爲めの假病とさへ傳へられてゐる折柄、東京會議のソ聯側委員たる北鐵副理事長クズネツオフ氏の秘書ヴィリダルスキー氏が突如東京より來哈し、ソ聯側は會議を開いて當面の問題に就き對策を協議中である、ヴ氏はハルピンに於ける局部的北鐵交涉に關し東京より重大な使命傳達のため來哈したものと解せられてゐる尙ほ第五次滿ソ會商は、來る二十一日開會されることになつてゐるが、ソ聯の出樣では無期延期となるやも知れぬ狀態にある

ソ聯バ代表 感冒で重態

〔ハルピン十九日發國通〕ハルピンに於ける滿ソ會議のソ聯側首席代表バンドーラ氏の病は流行性感冒で四名の醫師の治療を受けてゐるが、醫師の談によれば、發熱三十九度絕對安靜を要し重態である

マグネシウム會社の成立は 時機の問題だ

八田滿鐵副總裁談

〔大連二十日發國通〕八田滿鐵副總裁は十九日記者團との定例會見にて左の如く語つた

株式募集は豫想以上の好成績で應募株數は約三倍となつたその原因は低金利の好機會に惠まれた事と今度募集に就ては全國各地にポスター等を配布した事も原因して居るが何と云つても全國民が如何に滿洲に關心を持つて居るかと云ふ事を裏書した譯だ第一回拂込は十月一日であるが無事に拂込を終る事を望んで居る、社債に就ては年度內に發行することになつて居るが今の處何時行ふか年度內に發行するかどうかも判らぬ、明年度各部の事業豫算は相當膨張するだらうが會社の事業が積極的になつて來て居る際だから膨張も已むを得ぬだらう然し緩急取捨が仲々困難だマグネシユーム會社設立に就ては既に申請はしてあるが何時頃認可になるか判らぬが設立はするに時期の問題だ、會社が出來れば滿鐵で株式の半額位持つ事になるから滿鐵からも幹部が入社する事になるだらうがまだ人事は決定して居ない適材適所主義で相當の人を送る積りだ日滿アルミニューム會社は內地實業家の計畫で滿鐵とは何の關係もない只滿鐵が所有して居る原鑛を供給する內約を結んで居るだけだ

小野塚東大總長 來月末任期滿了

〔東京發〕東京帝大總長小野塚喜平次博士は四年の任期終了し來月末改選が行はれることになつたが同總長に對し再選說もある一方勇退を望む說も可なり多く小野塚博士は或ひは此の機會に赤門を去る決心をしたとも傳へられ、後任總長には醫學部長林春雄博士、文學部の姉崎正治博士、農學部の鈴木梅太郎博士說が傳へられて居る

蘇炳文の犧牲日蒙人に 忠魂塔を建立

除幕式盛大に擧行さる

〔ハイラル二十日發國通〕昨年蘇炳文反亂の際ホロンバイルに於て彼等の兇刄に斃れた無辜の良民日本人二十名、蒙古人四名の英靈を慰めるべく「ハイラル」郊外に工事中であつた忠魂塔は此程漸く建設を終へたので本日午前十時より盛大なる除幕式を擧行した、式典には當地在住の日、滿、蒙官民多數の參列あり警備司令官羅波中將の祭文が朗讀され式典終了後は劍道、柔道、蒙古相撲等の神前試合が行はれ、場內に模擬店を設け、日本料理、酒、茶、滿洲料理、蒙古茶等の接待を行ひ又日本軍隊では協和會と協力して貧民への施物施米等を行ひ式典を通じて民族協和の實を擧げるところあつた尙夜は省の主催で活動寫眞會が行はれることとなつてる

嫩江縣城附近に 白系露人農夫を移殖

〔ハルピン二十日發國通〕着報に依るとハルピン白露委員會に於ては嫩江附近の治安恢復したので同地方に白系露人失業者を移住せしむべく計畫中であつたが最近いよいよ具体化しベレリヤエフ、フリーストフの兩名を派遣實地調査を爲さしむることとなつた移住計畫は嫩江縣城を中心とする南北二十露里、東方黑河街道に添ひ十五露里內外の地區で明年早々百家族の移民を實施の上その數を增加せしむる豫定である

黃郛近く 廬山より北上

〔北平十九日發國通〕黃郛は廬山にありて財政の建直し軍隊の整備及び對日政策の確立等內治外交の充實に努めて居たが今回蔣介石の諒解を得て愈よ近く北上することとなつた

根本方針維持の爲め 羅文幹を罷免

外交部長更迭事情

〔東京廿日發國通〕國民政府は外交部長羅文幹の辭職に伴ひ十八日新外交部長汪精衛の名を以つて外交方針は「變更」せずと聲明したが廬山會議その他政府內の重要會議に於いて對日徹底抗爭は徒らに國民政府の信威を失墜し國力恢復の期を失ふものとして努めて居るが學良の腹臣として排日の巨頭たる羅氏は快からず、反政府的色彩を濃厚にして居た、早くも之を知つた蔣介石は政府の根本方針を紊すものとして彼が新疆視察の申出を斷はり体よく之を罷免し近く歸國の宋子文との連絡を斷ら切つたものであると傳へられて居る此國民政府部內の內紛は何處迄波及するか腹臣を追放された學良は今後如何なる態度に出るかその歸國と相俟つて「興味」ある問題として注目されて居る

伊通縣下各地を橫行更らに昨年六月頃新京方面は移動各地に於て暴虐の行爲を續け居たるも思はしからぬので再び昌圖縣方面に赴かんとして前記列車にて南行中自己の行動を秘すには停車場外に飛降りるに如かずとなし大膽にも危險を省みず飛降りたものであつたが罪狀判明したので法の定むる處に從ひ嚴罰に處せられたさ

滿博見學團

滿洲國協和會四平街辦事處に於ては日滿親善を圖ると共に一般民衆の知識增進を目的として滿博觀察團組織を目論み梨樹縣城內を中心として四平街、八面城に於て專ら團員募集中であるが募集豫定員六十名にして一人當廿圓來る二十七日出發し二十八二十九の兩日は觀察三十日歸四の豫定である

四平街から 匪賊が 列車飛降り

去月二十九日午後十時頃伊通縣馮家水口生れの貞济(劉上)四二才は滿鐵線井驛附近にて列車より飛降り人事不省に陷り居たるを伊通縣第七區自警團員が發見し同自警團に收容加療中であつたが、同自警團より同人は馬賊なるため取調べられたき旨當市憲兵分遣隊に報じ來りたるを以て十八日樋出伍長は同地出張取調べたるに滿洲事變以來匪首九州の部下に入り昌圖、開原、

印刷機械及材料
各種印刷と製本
卸小賣　北原紙店
電話 三四〇一

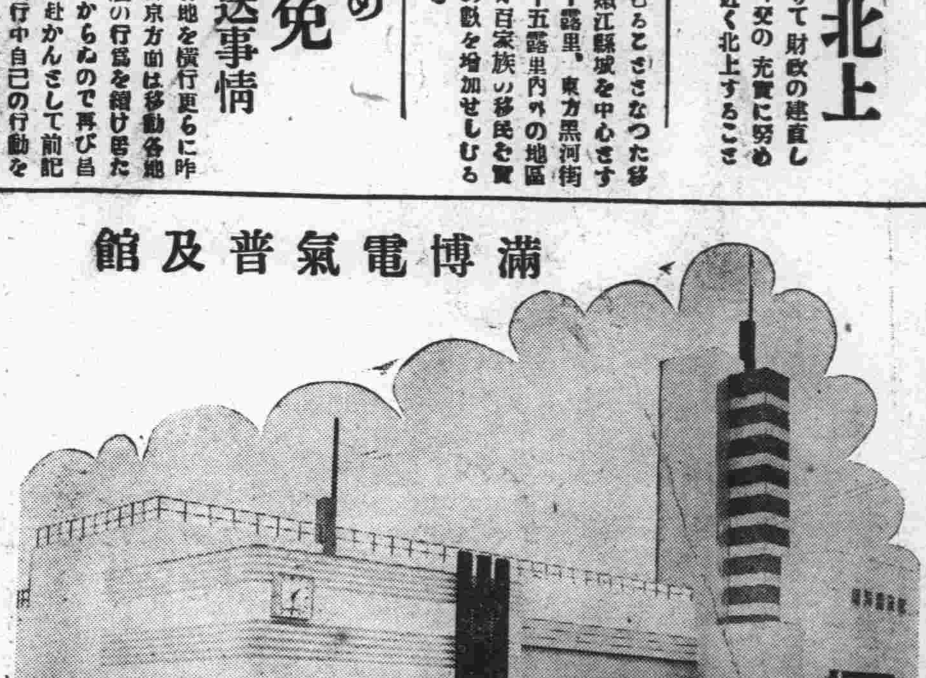
人事

▲槇山大佐(關東軍特務部)二十日午前九時內地へ
▲松木中將(前第〇〇〇團長)同上
▲伊藤軍醫總監(關東軍々醫部長)二十一日午前八時歸京
▲田代少將(憲兵隊司令官)十九日午後十時五十分着任
▲上砂少佐(憲兵隊副官)同上
▲坂本大佐(憲兵隊司令部附)同上
▲長谷川中將(豫備役)九日午後[illegible]旅館

團体

▲建築協會團十名二十日午後三時二十五分來京同四時三十分奉天へ
▲全鮮商業學校長團三十名二十日午前八時四十分ハルピンへ
▲熊本教育團十三名二十日午前六時四十分來京
▲鹿兒島軍慰問團二十七名二十日午後三時二十五分來京
▲日滿教育團百名二十日午前六時四十分來京同十　奉天へ
▲滿鐵社員團二十九名二十日午後四時三十分大連へ

滿博電氣普及館

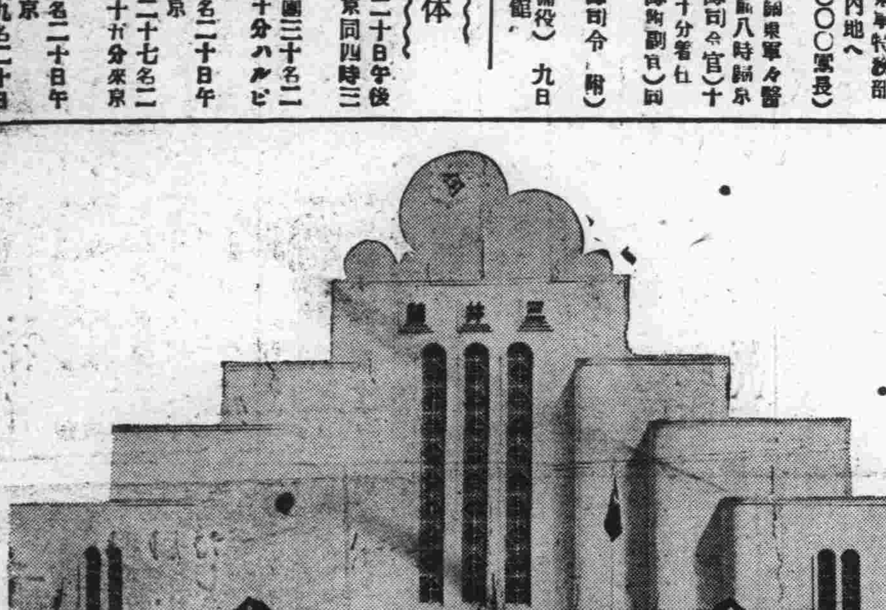


日滿は平和の光りで滿てる
太陽に代る電氣事業
電光の總元締
滿電の活躍
南滿電氣株式會社
專務 入江正太郎

大阪商船滿博特設館
大連、門司、神戶使用船

たこま丸	五、七七二屯
香港丸	六、〇一〇屯
うすりい丸	六、三八六屯
ぱいかる丸	五、二六六屯
志あとる丸	五、七七四屯
亞米利加丸	六、〇七〇屯
うらる丸	六、三七五屯
はるぴん丸	五、一六九屯

支店長 渡邊



大連市催滿洲大博覽會內
三井物產特設館
非常用ガソリン發電機
三位式色燈信號機
秤各種、踏切警報機
レーヨン糸
人絹織物各種
水產物各種
三井の牛罐
大連支店長
阿部重兵衞

憲兵は初めてだが 死力を盡して職責を全ふす
朗かに語る田代憲兵司令官

今回橋本憲兵司令官の後任さして北平公使館付武官より榮轉した田代少將は十九日午後八時八トにて新京に到着したが、憲兵司令部高級部員坂元大佐、末松警視等と共に公主嶺まで出迎へた記者に對し、連日の旅の勞れも見せずいさも元氣に左の如く語つた

この度の轉任は、實にあわたゞしかつた、去る十一日上海をたつて十四日夜東京に着き滯京二日、諸般の用務を果し、十六日夜東京發一路こちらに向つたといふ樣な譯で今まで非常に忙しい旅の連續で別に新任に關して話すべき何の用意も持合せてない何しろ憲兵といふ兵科に屬したのは今度が初めてだし、それに新京も實地的には良く知らないし、未だ一向樣子が解らない、たゞ事變の現地にこの重職を拜命した事は自分の光榮とするところで、死力を盡してこの職責を全ふする考へである

と決意を顔に現はして厳に口を結んだ

國防獻金に 陸軍から感謝
一般へ傳達を希望

今次の滿洲事變に際し、新京市民が愛國の熱誠を以て謹んで國防兵器その他を陸軍を獻納したのに對して、當局でも痛く感謝し、既報の如く荒木『陸相』の名を以て去る十七日附高山警察署長宛て感謝狀を贈つて來たがなほ牛島陸軍省副官から

「今次の事變に際し國民愛國の至誠により陸軍軍用物件を獻納し大いに皇軍の志氣作興に寄與せられたるは洵に感謝に堪へざるにつき獻納者全體に對し感謝の意を表したいが經費その他の關係で各人に對し一々挨拶出來難いから成るべく關係者へ傳達相成度し」

と特に通牒あり、同署長から『地方』事務所長、各區長、地方委員會議長、在鄕軍人分會長各學校長その他へ一般へ傳達方を依頼した

中央通りの大停電

十九日午後八時半から一時間餘に亘り市內中央通り一帶停電、暗黒街と化したが、右は中央通り憲兵隊本部隣り滿鮮運輸會社支店建築場の足場が高壓線に觸れ折柄の豪雨で故障を生じたもので九時四十分復舊した

僅かな給料を貯蓄 金五十圓を國防費へ
床し鈴木一等兵の心

朝鮮京城野砲兵第二十六聯隊第七中隊砲兵一等兵鈴木弘君は、入營以來よく『上官』の命を守り演習に內務に精勵し進んで困苦を求め缺乏に耐へ終始一日の如く自己の修養に勉めてゐたため美德は夙に中隊一同の賞揚する處であつたが每旬受くる給料も大部は貯金し其の額は既に積つて七十圓迄になつたので何か之を國家社會のために有利に使ひたいと日夜それのみを考へ續けてゐた所、非常時日本銃後の國防獻金に深く感動し彼は貯金の大部である五十圓を國防費の一部として十日陸軍へ獻納した

同聯隊では既に將兵全員本年度始めより向ふ一個年間に亘り國防獻金を實施中なので中隊長は、彼の精神のあるところを賞して一度は思ひ止まらしたが、愛國の熱情ほだしがたく、再び其の宿望を達したき旨申出たので中隊長も其の『赤心』に動かされて遂に獻金の手續きをとつたものである

陸軍と通常に 刑量の差があつてはならぬ
今村力三郎氏語る

〔東京十九日發國通〕五、一五事件の陸軍側被告に對する求刑に關し、各方面へ意見を求めたるに對し一般に多くを語らぬが伊香保温泉に滯在中の刑事辯護士の大家今村力三郎氏は左の如く語る

自分は事件の係辯護士ではないから求刑が重いとか輕いとか云ふ意見を今述べることは遠慮したいが僕の只心配することは軍法會議の求刑と通常裁判所の求刑とが非常に喰ひ違ふやうなことは何れも　陛下の裁判所でありながら同じ事件について不均衡なことがあつてはならぬと思ふ

陸軍側五、一五事件の被告に對しては陸刑二十五條第二項の規定を適用禁錮八年を求刑されたものであるが、[illegible]懲役刑を選ばず特に禁錮刑を選んだ理由は被告等の犯罪政治犯に屬する故をもつてこの點の情狀を汲んだもので禁錮刑は懲役刑と異り單に自由を拘束されるのみであつて勞役に服する義務を負はないのだ

台風一過 法學部中央部に人影もなし
晩夏彈壓下の京大風景

京都帝國大學松井總長の疾風迅雷的の六教授免官、殘留七教授と田村恒轉兩教授の分裂、殘留教授による新教授會の設立、かうして去る五月中旬以來の瀧川教授をめぐる京大問題もその結末に近づかうとしてゐる

去る七日學生中央部は教授會によつて解散を命ぜられ學內に事務所をもつことが出來なくなつた、未曾有のあらしがたつた今吹き去つた、空しい荒野の樣な京大、各教室には完全にロツクがおろされ鐵の扉は微塵も動かない、かつては華やかな學生運動の中心だつた新館地下室に今はもう人一人見へない、床の上に欠席理由と朱書した封筒の殘骸が散亂、過ぎ去つたあらしの暴力を訴へてゐる樣にもみへるのだ

――二人だけ殘つてゐますが、後は全部ひつぱられて行きました今朝も四五人あげられましたよ貴方もそんなところでうろついてゐらやひつぱられますよ

京大新聞の人らしい、問はずがたりに話してくれるかつては法學部千八百人の行動を指導し、あざやかな臨引によつて學內の他學部をリードしてきた全學生中央部がたつた二人になつてしまつてゐるのだその二人も身邊をきづかつたのか姿をみせぬ、その二人に連絡をとりにくる各高校班を警察の力で直に拘引するのだといふ、その出發において純眞な節への思慕に立つたこの運動も遂に新教授會にはみとめられないのだ

靜かな學內、雨の中をそこかしこ夏期講習會の立札が立つてゐるのみだ、法學部事務室をたづねれば「休暇中だから教授はどなたもおいでになりません」といふ、廣い部屋の中に二三人の人が眠むさうな顔をこすつてゐた「學生はどうしましたか」と問ふと「もう誰もゐないはずです」と答へる本館の中を誰かゐないのかさがし求めたが、所々、半ば破りすてられた張紙に、事務室とか何高同窓會本部とか書かれてあるのが殘つてゐるのみである

五、一五事件 匂坂檢察官の論告(要旨)
辯護士は執行猶豫を要求

〔東京十九日發聯合〕十九日陸軍々法會議に於ける五、一五事件被告に對する匂坂檢察官の論告要旨左の如くである

今事件の重大性に就き被告等は我國支配階級が腐敗墮落し私利に耽けるを歎き直接行動による國家革新を企て海軍將校と結び兵器を執りて白晝公然總理大臣官邸で犬養總理を殺害警察機關の中樞及び其他を襲擊し轂の下を騷がし、安寧を害したもので社會的重大事件たるは勿論、その行動は軍人の本分に背き、軍事的にも許すべからず、軍規維持の重要なるは陸軍刑法各條が總てその見地より規定されたるに徵しても明かである、故に被告等統帥權の發動によらず私見を以て直接行動にいでしはその動機たとへ愛國の至情に出でたりとも軍規をみだす非行と云はざるべからず、本件事犯の原因につき

一、國防警備に對する不滿、海軍々縮問題に關し統帥權干犯問題を生じ、軍人の眞意を刺戟し、こゝに之等支配階級を打倒せんとせり

一、被告等は明治維新史を讀み慷慨し、死につくを軍人の本領と思ひ至嚴なるべき軍規を犯し、我國の維新打開の爲めには介意の要なしとせしは、本件事犯の一因たり

一、國法と軍規の輕視、被告等の直接行動が國法に觸れ陸刑第二十五條反亂罪行爲に本事犯は該當す

被告等はその他反亂罪以外に殺人、殺人未遂、爆發物取締規則違反の罪名に該當するが、反亂罪名を附せらるべきにあらず、且被告各別して刑を課すべきでないと約一時間半の論告を終へ、既報の求刑をなし十時十分中川辯護士の辯論に入り、檢察官の論告に滿足なる旨を述べ全國的に減刑運動が行はれてゐることを說き、法律は運用によつてその眞價を生ずると論じ被告等に情狀酌量せねば間違ひで是非執行猶豫の恩典を與へられたいと述べ、十一時二十分閉廷した、次回は二十一日午前八時からである

腸チブス 豫防注射の宣傳

衛生當局が大童となつて豫防に努めて居る腸チブスは漸次其數を增し現在四十六名の入院患者を出してゐる狀態で斯如く蔓延の徵濃厚に現れつゝあるに拘らず消防隊で施行してゐる豫防注射を受ける者は到つて少く十六日より十九日迄の受注者僅七百名內外で一般市民は同病を輕視してゐるのではないかと思はれる爲二十日消防隊では二台の自動車ポンプを以つて大々的豫防注射の宣傳をなし市民の注意を喚起した

激戰實に二十五合 中京遂に勝つ
明石軍涙を呑む

〔甲子園十九日國通〕全國中等學校優勝野球準決勝戰明石中學對中京商業の決戰は十九日午後一時四分明石先攻にて開始、明石楠本、中京吉田の投球益々さへて互に得點を許さず息詰まるが如き激戰實に二十五合の後中京漸く貴重の一點を舉げ一Ａ對零にて凱歌は中京軍に上つた時に六時五分

安東警備軍 匪賊討伐に大殊動

鵰飛匪を殲滅

〔安東發〕大營子附近掃匪中にある伊藤部隊は十七日早朝大忍溝を出發王家堡子を經て二道于溝に到着するや同地に匪首鵰飛の率ひる五十餘の賊團が休憩しゐるを發見直ちに之を猛擊して殆ど殲滅せしめたが此の戰鬪で二等兵鳥芳太郎氏は戰死し、軍曹山本孝(大腿部貫銃創)二等兵稻岡亥七・同宮下政治の三氏は重傷を負ふた、敵は副頭目超及び趙犬以下四十名を殪し頭目鵰飛は負傷して己れの腕章を遺棄し山林中に遁入した

敵砲彈廿五箱を鹵獲

〔安東發〕目下紅旗街方面に於て掃匪中の安東宮本部隊は十七日午前八時十分德盛號(紅旗街東南方二里)東方高地を占領せる匪首李子榮、李春潤の指揮する三百の敵と遭遇し交戰二時間の後之を東方に擊退したが敵は近くの前面高地に停止して頑强に對抗するので田中隊は午前十一時戰地に到着せる光川部隊と協力之を包圍し攻擊戰を開始した、此の戰鬪に於て安東守備隊宮本部隊の牛丸勇伍長は頭部貫通銃創を受けて名譽の戰死を遂げ馬頭も殪れた、尚ほ宮本部隊は茲で敵の隱匿せる迫擊砲彈二十五箱を鹵獲した、此の報に接し板津大隊長は十七日紅旗街にあつた赤城枝隊に無電して現場に急行せしめ、又長山寺の滿洲國軍隊をも該地に出動せしめた

李子榮部下 武器彈藥陸揚げ

〔安東發〕去る十四日匪首李子榮は部下三百余を率ひ渾水泡西南四十支里鳳城縣第三區長山村姑河岸にあつて山東省煙台より輸送し來りたる武器彈藥多數を陸揚げし馬車二十台に滿載して鳳城縣第四區方面に運搬したと

高石、宮本兩部隊奮戰

〔安東發〕鷄冠山高石部隊(村瀨○隊員)は十七日龍王廟を出發、大李堡子に進擊中塔溝附近急進し折柄戰鬪中の宮本部隊と協力、隱匿彈藥防禦のため頑强に抵抗を試みる李春潤、李子榮部隊約三百の敵匪と猛烈なる激戰を交へ敵匪の據る邊崗嶺西側二五五高地を北方より果敢に攻擊し遂に南方及び東方に之を擊退した、此の戰鬪に於て高石部隊松本上等兵(胸部貫通)平間一等兵(胸背部貫通)相田一等兵(頭部貫通)は壯烈なる名譽の戰死を遂げたほか小濱儀中特務曹長は右股臀部貫通、飛田衞守兩上等兵、大內二等兵は何れも重傷を負ふた、尚ほ敵匪の隱匿彈藥は全部宮本部隊の手に依り鹵獲したが戰場に遺棄せる敵の死体數十を算し負傷者多數ある見込なるも詳細不明

江連力一郎 再び隊員百名を引連れ出帆

〔函館發〕尼港事件の報復と稱しロシア汽船を襲つた往年の江連力一郎は滿洲國軍に入り活躍すると噂されてゐたが八月始め漂然函館に現はれ船名の分らぬ汽船數隻と獨航船五隻約百名の隊員及び食糧武器を搭載窃かに根室港を出帆したことが十七日に至り道廳警察部の探知するところとなり眞相調査に着手したが、最近琴平丸拿捕事件並に漁夫殺害事件に鑑みその行動は多大のセンセーションを捲き起してゐる、江連の怪船隊乘組漁夫は「大輔」乘組員が多數でその資金はアンナ、ローザンス號引揚げ後援會の應募金中より二十數萬圓之に充てたものと云はれてゐる

林洋行の不幸

新京日本橋通文具書籍店主林金次氏四女すみ子さんは二十日午前七時五十分死去二十一日午後四時東本願寺で葬儀が執行される

太陽は東より 長春座映畫

長春座は二十一日から二日間廿二日は晝夜早川雪洲主演田中絹代外蒲田スター總動員の映畫太陽は東よりを上映する

花環專門店生る

永樂町三丁目十二番地に今回新に御祝儀用、葬儀用、室內裝飾用の花、花環專門店花輪商會が生れた、電話二〇五八番である

ラジオ欄

二十一日（月）　新京

奉天後　四、〇〇　相場　レコード
新京後　四、三〇　商業通信社
同　後　五、〇〇　演藝　講演　新京特別市衞生狀況　新京特別市政公署行政處長　董陽
同　後　五、三〇　ニュース
（滿）東京後　六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯
新京後　六、二〇　語學講座（滿洲語）講師高宮盛逸
　六、四〇　同（日本語）同
同　後　七、〇〇　ニュース
同　英語　植松金枝
同　後　七、一〇　ニュース
同　後　七、二〇　露西亞語　ニュース
同　後　七、三〇　朝鮮語　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同　後　八、〇〇　演藝
東京後　八、三〇　時報
同　後　八、三一　ニュース　東京中央放送局編輯

銘酒　月ヶ瀨
釀造元　森川新京支店
曙町二丁目
電話三八〇八番

滿洲銀行

二十一日より二日間（二十二日晝夜）
早川雪洲第一回主演映畫田中絹代外蒲田スター總動員
現代映畫　太陽は東より
長春座

四女林すみ子病氣の爲め滿鐵病院入院中の處養生相叶はず本朝午前七時五十分死去仕候追而葬儀は明二十一日午後四時東本願寺に於て執行仕可く此段御通知申上候

八月廿日

林洋行　父　林金次

▲皆樣御待ちかねの!!
呉服もの!
棚ざらへ　正札の半額品と二割引
大賣出
特に時價暴騰を度外視し!
秋冬物持越品大見切の全部を提供しての大奉仕!!

京

自八月二十一日
至八月三十一日

（新京日本橋詰）
新京百貨店
呉服部
電話　三一六一　四八七六　番

慶安異聞 閻魔地獄

(十三)

（實上演映畫化）

玉水三郎

（繪）長谷川小信

殺人召捕（五）

捕方三十人、案内は蕪の太吉。下ッ引の林蔵。先に立つたは同心大隈道十郎、飛び上つた姉妹お菊お入重には目もくれず、離室へ離室へと飛入した。

『町奉行青山主膳手附きの同心、大隈道十郎出役に及んだ。鈴藏破りの大罪人崎山隼人神妙にお繩を受けよ』

離室の襖を蹴破つて、道十郎が眞先に躍り込んだ時、今までをこかの病に、大苦悶中であつた崎山隼人、ふすまを蹴つて刎ね起きざま、銘刀、大刀を左手に取上げつゝ物をも言はず引抜いた。

『ソレッ、手向ひ致すぞ。何れも油斷致すな』

捕方は其無勢に、一時は躊躇したもの、一見して判る病みほうけた姿。髮も髯も蓬々として、窶げた頰には肋骨が一枚々々見える。僅の間の煩ひながら歳が六十近くなつてゐるのと、四五日の間一食もとらずにゐたので、衰弱し切つてゐるから、

『病中の老耄一人、何程の事あらんや。ソレッ召捕れ』

道十郎の下知に、心利いたる捕手の一人、道場から有合せの木刀四五本持つて來た。

十手に代へて三人は木刀を振廻した。

手狭の家の内なり、さすが剛勇の隼人も、思ふやうに働けず、唯捕方の一人を斬り斃したのみで、ポン〳〵と四方から打込む木刀を避け得なかつた。

終には一本烈しく小手に打込まれて、ひるむ所をポン〳〵左右から打ち込んだ。

バッタリ斃れた時、乘り重なつた十人許り、先づ抜き身を奪つてしまつて、十人一緒に無茶苦茶に繩をかけてしまつた。

さうして一人宛、上から上から繩を解いて、漸くに眞ん中の一人即ち隼人だけを本繩にしてしまふ。

『無念』と一聲、未だ〳〵こりの離室へガタ〳〵止まらぬ隼人。齒嚙みをして口惜がつた。

『それッ、引立てい』

娘のお菊、お入重の二人は唯オド〳〵として、泣く許りであるから、連累でない事は判つてゐる。

が一應は繩こそ打たぬが、奉行所へ引立てゝ吟味となる。

隼人は容易に白状はしないが、町奉行青山主膳は十中八九まで犯人と判定した。

姉妹の娘は別に[illegible]が、嚴しく吟味を重ねて見ると、意外な事が判つたといふは、父崎山隼人は本名高坂甚内と言つて、播州浪人とは僞り、實は大阪落城當時の、豐臣方の落武者であつた事だ。

愈々以て徳川家を恨む者、増上寺の將軍狙撃も此者であらうと睨まれる。

それから又家宅捜索に依つて他にも連累者が多くあり、大名の金藏破りは、軍用金を得る爲である事も判つたが、夫等の證據書類には、決して氏名を記してない許りか、阿部、田村の兩屋敷から奪つた二千兩の金の行方が判らない。

愈々嚴重な吟味となり、拷問にかけんかと青山主膳も考へたが、何分衰弱してゐるので、殺してしまつてはならず、彼是する中に五日許りで、崎山隼人の高坂甚内は牢内で悶死を遂げてしまつた。

白狀はせずとも正に將軍暗殺未遂、諸侯の金藏破り、叛逆人と判つて見ると、假へ連累でなく共姉妹の娘は其當時の法が許さず遠島とか追放とかに處せねばならぬ。

主膳はお菊とお入重を白洲へ呼び入れて宣告をする事となつた。

八月二十一日 舊七月一日 月曜 己未 先勝 閉 張宿

●一白の人 急湍の水勢も深淵に淀みて靜かなるが如し 辰と巳と丙が吉
●二黒の人 難事ありても中折せず倒れて止む元氣あれ 乙と丑と寅が吉
●三碧の人 一進一退物事捗らざるも後日を與み努めよ 丙と庚と壬が吉
●四緑の人 巖も嚙む怒濤の如く終日怠らず勵むに宜し 丙と戊と癸が吉
●五黄の人 成否は勤怠に依る耐忍して事に當れば有功 甲と卯と乙が吉
●六白の人 大望を起さず本分を盡せば一家光明に浴す 乙と丑と寅が吉
●七赤の人 意の如く萬事捗るべし迷はず前進するが吉 乙と丁と寅が吉
●八白の人 意志さへ堅ければ不安も自然と除かるべし 卯と乙と丑が吉
●九紫の人 業績次第に伸長する日但し目上の交際注意 丙と申と戌が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×三等船客設備船（午前十時大連出帆）

うすりい丸 八月廿二日
ばいかる丸 八月廿四日
×しあとる丸 八月廿五日
亞米利加丸 八月廿六日
うらる丸 八月廿七日
はるびん丸 八月廿九日
×たこま丸 八月三十日
香港丸 八月卅一日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ヂャパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

●專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店 電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二一六二番

耳鼻咽喉科專門
（入院隨時）
新京梅ケ枝町四丁目二番地（領事館前東三條橋角）
公主堂 三井醫院
院長醫學博士 三井忠
募集（見習看護婦）
電話二七〇三番

美酒佳肴
會席御料理
長春座裏
やよい
電話三四九〇番

公認
鴨綠江白魚水產組合製造
鴨綠江名產
白魚ほしほまれ
到る處百貨店食料品店にあり
丸平洋行 電二六四〇

御料理 東明
吉野町二丁目五
電話二一三七番

草履のシーズンは訪れました
小林の履物は皆樣の御手許へ參るべく
最新流行の御履物が澤山參りました
どうぞ御來店を
（聯合加盟商）
小林履物店
電話二三四四番

額と繪
尚御用命に依り適宜寸法の額縁御調製致します。
品川洋行
TEL 3062 2593
和洋家具・室內裝飾
世帶道具・建築材料
新京日本橋通

御親來上
趣味蒐集 マッチレッテル
廣告マッチ カレンダー 團扇扇子 進物用品
新京 東二條通 出田吟味堂

內科 小兒科 外科
皮梅科 產婦人科
國都醫院
入院隨意
附屬產院
新京朝日通十九番地（領事館通）
電話四六〇六番

皮膚、泌尿科
外科、性病科
同仁醫院
富士町二 電話二六〇六番
診療（自午前九時 至午後五時）日曜祭日午前中

土木建築 請負業
合資會社 昭和土木
新京祝町五丁目二番地
電話長二九九三番

最上白米
特等醬油
清酒、木炭
今田商店
電話三九三番

新京の青柳
新京一のニンキは
ツネに新京一のカ
チを有す
簡易輕便
調味卓越
鰻かばやき
割烹 鯛すき
食道樂 アオヤギ
祝町餅銀北横
電話三〇九〇番

赤煉瓦製造販賣
藥品部同樣御引立の程御願致します
東亞號窯業部
電二二四六〇七二六二番

新京
石川千代次商釀
電話三七五七三四八〇三番

營業科目
一、海陸運送取扱營業 二、倉庫及金融 三、代辯及保證 四、勞力請負 五、委託販賣 六、前各項關係一切業務
國際運輸株式會社 新京支店
電話
二五〇四 支店長支店長代理
二九三一 庶務係
二三〇一 倉庫金融係
二一三三 船積係
二三四六 東支線發着係
二六六五 經理係
二四八五 小口發送（南滿長吉敦）市內運搬
三〇五九 專用線荷役所
四九六三 運輸係
二六三八 專用線荷扱所
二五一〇 日ノ出町倉庫
三三九一 馬車部
三一一五 華工事務所
三一九六 寬城子荷役所
三一〇六 材木線詰所
三三七九 支店長
二七四三 作業係主任宅

代理店 新京日本橋通
福田支店
電話二九八〇番

營業科目
落葉松電柱
建築用足場丸太
土木用杭丸太
杭木、腕木
堅木、特種材
北滿、吉林原木
製材品其他
共信公司
牡丹江木材公司新京出張所
新京入舟町二ノ一五
電話 三三〇一番 三三三七番
支店 吉林大馬路